



# STOP! 介護崩壊 介護ウェブ 2009 推進ニュース

## — 介護ウェブの “Big Wave” をおこそう! —

**取り組みを具体化し12月末までに500,000筆の署名を集め介護改善要求を国会に届けよう!**

### 誰もが安心して利用できる介護保険制度を!!

### 「いつも笑顔で働きたい」介護の日行動に約100人が参加(沖縄)



11月11日(火)「介護の日」、パレットくもじ前広場で民医連と県社保協が「介護の日」街頭宣伝・署名行動をおこないました。民医連事業所から介護福祉士や介護士、看護師、事務など約100人が行動へ参加しました。参加者は「介護保険制度の改善や、介護報酬の引き上げ」などを訴えました。介護相談コーナーや、介護署名への協力を訴え、ビラやポケットティッシュなどを配布しました。介護職員によるリレートークもおこなわれ、次々にマイクを握り今の介護現場の状況を訴え、プラカードやプラスターなども高く掲げて県民へ大きくアピールしました。1時間余りの行動でしたが、準備したビラなどを配りきり、122筆の署名も集まりました。民主党政権は「介護職員の処遇改善」などを公約に掲げていますが、後期高齢者医療制度の先送りの動きなど、待っているのは前進しません。私たちのこういった運動が今、重要です。介護改善を早期に実現させていくために引き続き現場からの声をあげていきましょう。

(沖縄民医連「平和・社保」がんばりニュース2009年11月13日 第2号より)



## 第7回山形県ケアワーカー研究交流集会開催 40名が参加!

### 介護の3Kは、「感謝」「感激」「感動」であることを確認(山形)



11月21日(土)、7年目を迎えた「第7回山形県民医連ケアワーカー研究交流集会」が山形県新庄市を会場に、40名の職責者と中堅職員の参加で開催されました。県連介護職育成委員会委員長(山形虹の会・井田智)による情勢報告では、昨年来実施されている「介護ウェブ」の取り組みにより介護保険制度が改善したことや、介護福祉士の資格取得制度が平成24年度から変更になり、実務経験だけでは国家資格を受験できなくなることの説明がなされました。より専門職としての役割が求められることとなります。また、介護の3Kと言われた「きつい」「汚い」「給料が安い」はもう古い。そう言って訴えたのは、山形県介護福祉士会会長・斎藤幸子氏です。この研究交流集会での基調講演で、介護の3Kは、「感謝」「感激」「感動」です。「私たちは、このことを誇りとやりがいとして仕事しているのです」。そして、「高齢者の生活に彩りをつける仕事」ではないでしょうか。「ありがとう」と「笑顔」に出会えた時、また頑張れるのです。と、元気づけられました。午後の時間帯では、先に実施された「介護職員交換実習」の情報共有を図るための報告会と事業所別のグループ討議が実施され、今後の職員育成やチームケア、日頃の問題点の解決に向けた意見交換が積極的に行われました。最後に、各法人・事業所における介護ウェブの取り組みを積極的に実施することと、介護福祉士がその推進役となっていくことの確認がされました。(2009年12月1日 山形虹の会より)

お問い合わせは、「介護ウェブ推進本部」事務局：山平・名波まで

TEL 03-5842-6451 / FAX 03-5842-6460 / E-mail min-kaigo@min-iren.gr.jp